

④ バイオベンチャー企業の支援について〈継続〉

【 現状の取組 】

彩都ライフサイエンスパーク

平成 16 年、周辺に立地する大学や研究機関等と連携し、様々なライフサイエンス分野の研究・技術開発機能等を持つ施設や関連施設の一大拠点として誕生。

バイオベンチャー企業の集積促進

バイオの研究・開発に取り組むベンチャー企業の集積と育成を促進するため、インキュベーション施設を整備。

H16 年 1 期棟「彩都バイオインキュベーター」(34 室)が開設

H20 年 2 期棟「彩都バイオイノベーションセンター」(19 室)が開設

インキュベーション施設の運営者および入居者への支援を行い、ベンチャー企業の成長をめざす。

【 本制度の効果 】

・バイオベンチャー企業の集積・成長

15 以上の企業・研究機関、30 以上のベンチャー企業の集積、4 社上場
大阪北部地域におけるバイオクラスター形成の中核を担うエリアとして発展

・研究施設等の集積による雇用の創出

【 課題 】

・本事業の継続における中小機構・府等との連携

事業期間を 15 年と定めてスタートしたもので、その期限(令和 5 年 9 月末)が迫っているため、事業の継続等、今後の方針について協議しているところである。

【 今後の方向性 】

・市としては当初定めていた 15 年を経過した後も事業継続を推進、支援していく立場で関係機関と協議を進めていく。